



平成 26 年 12 月 22 日

各 位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗
(TEL 045-478-0041)

台湾EMO BIOMEDICINE CORP.に技術導出するライセンス契約を締結

株式会社メディネット(以下、「当社」)は、当社が開発し、権利を有する「抗原提示細胞の活性化処理方法」(EP1930414)を、台湾のEMO BIOMEDICINE CORP.(艾默生物醫學股份有限公司、以下、「EMO社」)に技術導出するライセンス契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 契約の内容および理由

EMO社は、TFDA(台湾衛生福利部食品藥物管理署)、MOEA(台湾經濟部)、とTAF(Taiwan Accreditation Foundation;台湾認証基金會)より承認を取得した検査サービスや細胞加工受託サービスなどを提供している企業です。

当社は、これまで大学や地域中核医療機関等との研究開発により、がん抗原を効率的に樹状細胞に取り込むことで、CTL(がん細胞を狙い撃ちする役割を持つT細胞)を大量に誘導できる処理方法(抗原提示細胞の活性化処理方法)を確立しております。同処理方法は、樹状細胞をビスホスホネートの一種であるゾレドロン酸と、外科手術で摘出したがん組織またはがん抗原ペプチドで共感作させることで、従来の方法に比べ、CTLの誘導を最大で100倍まで向上させることが可能となり、また、当社がアジア・パシフィック地域に独占実施権を有する「セル・ローディング・システム」を組み合わせることで、CTL誘導能が更に向上することで、高い治療効果が期待されています。

今回導出する「抗原提示細胞の活性化処理方法」は、欧州11か国などでも特許が成立しており、本契約に基づき、当社は同処理方法をEMO社に技術導出致します。EMO社は当社より技術導出を受けた同処理方法を用い樹状細胞ワクチンに係る臨床試験の実施を台湾で進め、規制当局からの承認取得を目指します。将来、同処理方法に基づき承認を受けた製品が台湾で市販される際には、売上に応じてロイヤルティ収入を当社が得ることになっております。

2. EMO社の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名称 | EMO BIOMEDICINE CORP.(艾默生物醫學股份有限公司) |
| (2) 所在地 | 8F., No.29-1, Sec. 2, Zhongzheng E. Rd., Danshui Dist., New Taipei City 25170 Taiwan, R.O.C. |
| (3) 代表者 | Chief Executive Officer Shing-Mou Lee(總經理 李幸懋) |
| (4) 事業内容 | 細胞加工受託サービス、検査請負、研究開発受託(SOP作成、抗腫瘍活性測定)、試薬販売など |
| (5) 資本金 | NT\$90百万(3.2億円) |
| (6) 設立年月日 | 2004年1月15日 |

3. 今後の見通し

本件は当期の通期業績予想には既に織り込んでおり、業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以上